

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通安全施設整備事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課					
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保	主管課長	鈴木 和男					

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市道における交通安全施設の新設及び補修を要する箇所	意図	交通安全施設等の整備により、交差点等の安全を確保し、また、道路照明灯等により夜間の安全確保を図り危険を回避する。
事業内容	・市道の危険箇所における道路照明、道路反射鏡、区画線、道路標識等の交通安全施設等（交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法第2条第3項第2号口に掲げる二種事業が中心）の設置及び補修工事の実施による安全な交通環境の維持、改善により交通事故等の防止を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	・交通安全施設整備事業に関する緊急措置の施行（昭和41年4月1日）により開始。交通事故の最大要因は、歩道と車道の分離等、ハード面の整備に時間を要していることが原因となっている。しかし、交差点の改良等には、なお、時間を要するため、既存道路網での安全向上が今後とも必要となる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	道路照明設置	3	1	1	基	↑↑↑	
	道路反射鏡設置（業者）	12	3	10	基		
	道路反射鏡設置（機動班）	8	16	11	基		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・安全施設については、自治会等の要望を基に設置しているが、その効果について十分検討し、対応することが必要である。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		40,336,130	35,366,650	40,002,381			
事業費（b）（円）		32,610,130	28,564,550	31,881,600			
うち一般財源		32,610,130	24,363,150	31,881,600			
職員給与費(c)(円)		7,726,000	6,802,100	8,120,781			
人役・職員(人)		1.00	0.70	0.90			
人役・再任用(人)			0.80	0.80			
人役・臨職(人)		0.50					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・ハード・ソフト面からの交通安全対策を総合的に推進するために、地元住民及び関係団体との協議の場に積極的に参加する。
今年度(H26)に実施した取り組み	・自治会、地元住民及び関係団体から情報を基に交通安全施設等の整備について、迅速に対応を行った。

取り組みの課題	・危険箇所に対して、迅速かつ効果的な交通安全施設等の整備の実施が要求される。
今後の改善計画	・引き続き、自治会、地元住民及び関係団体との連携を綿密に行うとともに、庁内各課にも危険箇所について情報提供を求める。